

熊本市現代美術館では、これまで、美術館情報紙「アートキッスレター」での展覧会取材や、「河原町アートの日」での審査協力など、熊本の若手のアートシーンの調査に力を入れてきました。今回は、その蓄積を生かし、熊本にゆかりのある若手アーティスト5組の作品を紹介します。今回、選出したメンバーは、県内外の展覧会やコンペに積極的に参加するだけでなく、アートスペースやNPOを主宰するなど、自分たち自身の手で発表する機会や場所を作り出そうという、活動体としての力にあふれた20代、30代のアーティストたちです。

地方と都市、また世界のアートシーンにおいても、西欧、そして中国を代表とするアジアの国々と日本との格差が広がっています。しかし、それを嘆いても何も始まりません。派遣切りにあいながらも、NPOを立ち上げる。天草で塩をつくりながら、美術館を主宰する。それが熊本という地方都市の「リアル」です。

作品はまだ未熟です。しかし、彼ら・彼女らは、社会に対してアーティストが何をしなくてはならないかということ、誰から教えられるわけでもなく、先見的にそれに気づき、自分たちの活動を始めています。熊本市現代美術館は、そんなアーティストたちを応援していきたいと思っています。この熊本に、本当の意味で、アートが根付く日がやってくるまで。(坂本彌子・熊本市現代美術館学芸員)

オープニングイベント 出展アーティスト全員が集まるまたとない機会です。ぜひご来場ください！
会場：ホームギャラリー 7月31日(土) 14:00 - 15:30 アーティストトーク 15:30 - 16:30 加藤笑平・竹之下亮パフォーマンス

アートホーリーメン

artborymen



1973年熊本生まれ、熊本在住。2003年より、HORYMANというコンビが世界を二千年循環している架空の物語作品を制作している。主な展覧会に、[HORYMAN going to boodootown] (2005年、福岡)、[HORYMAN'S BLOOD] (2007年、福岡)、グループ展に、2005-2008年「GEISAI」出品、2005年福岡市長賞、2005年「東京ビッグサイト、東京」、「ワンダーランド2009」入選 (2009年、東京ワンダーランド)、「ANIMI-ZOOM」(2009年、阿蘇白木郷美術館)。



竹之下亮ワークショップ&パフォーマンス

①ワークショップ「どこだ!?竹ちゃん」

「竹ちゃん」こと、ダンサーの竹之下亮と一緒にダンスを動かしてみませんか?みんなでおもしろストレッチをした後、美術館の中に、竹ちゃんが寝たまま、ダンシングしてひそんでいます。当日、指名手配書を配りますので、竹ちゃんを探して下さい。

日時：9月4日(土) 10:30 - 11:30
定員：20名(小学生以下は保護者同伴)
申込：予約制(来館か電話で美術館へ)
費用：無料
備考：動きやすい服装でご参加ください。

②パフォーマンス

「トキドキ、ドキドキ、ダンスツアー」
竹之下亮が、ダンスをしながら、美術館の設備ツアーを行います。あら不思議、いつもの美術館が違って見えるかも?

日時：9月4日(土) 14:00 - 15:00
定員：15名(小学生以下は保護者同伴)
申込：予約制(来館か電話で美術館へ)
費用：無料

③ダンスの配膳

「どこでもなんでもやるぜよ」
ギャラリーⅡ内に、ゲストをご用意します。あなたが竹ちゃんにダンシングして欲しい場所を記入して入れて下さい。出展ダンシング致します。(写真、映像撮影、デッサン、手書きなど何でもダンス致します)

日時：7月31日(土) - 9月12日(日) (お申し込み要)
対象：どなたでも 費用：無料

竹之下亮

Ryo TAKENOSHITA
(福岡県朝倉郡)



1977年生まれ、ダンサー・舞踏家、京都造形芸術大学にて舞踊を学びながら身体表現の面白さに目覚め、ダンスを始め、劇場以外でも振り、場所の特性を活かしたパフォーマンスをこなすことが持ち味。2008年「河原町アート大賞」受賞、09年「アーツ・チャレンジ2009」新進アーティストの発見をいかにして舞踊部門入賞。2009年「ダンスの信託-本心とわたし」(美術館名ギャラリー-熊本)、2010年「福岡フリンジダンスフェスティバル」にて観客賞受賞(福岡)。電話を受けダンスを配膳する、「ダンスの配膳」もやっている。



加藤笑平

Shohei KATO



1983年東京都葛飾区柴又生まれ、熊本八王子工業高校応用デザイン科卒業、熊本県天草市在住。2006年より、天草産物製菓を代表として主宰。老舗天草を中心とした企画も手がける。天草で製菓業に就事する傍ら、新田のゆか、土地の持つアノミズム性と多様な現代日本人の行為に着想したパフォーマンスを行う。主な展覧会に、2006年「天草産物製菓加藤笑平展」(天草産物美術館、熊本)、2009年「空から日本、世界のおフロで全小使」(IAF SHOP、福岡)、主なグループ展に、2005-2007年「ワンダーランド」(トーキョーワンダーランド、東京)入選、2009年「ANIMI-ZOOM」(阿蘇白木郷美術館、熊本)。



ワタリドリ計画

(武内明子・藤生知子)



武内明子(1966年、熊本生まれ、東京造形大学卒業、埼玉在住)と藤生知子(1982年、埼玉生まれ、東京造形大学卒業、埼玉在住)によるアートユニット。2009年春より、「ワタリドリ計画」として、札幌、長岡、青森、福岡、静岡、名古屋、横浜、新潟などをめぐり、各地に滞在し、そこから生まれた作品を展示した二人展を各地で開催している。

主な展覧会に、2009年「第1回札幌展「北海道」」(札幌市資料館、北海道)、「第2回長岡展「地・空・長岡」」(新潟近代美術館ギャラリー、新潟)、「第3回青森展「青森ツアー」」(青森県立美術館コミュニティギャラリー、青森)、「第4回静岡展「岩手心紀行」」(ギャラリーlavie、岩手)、「第5回新潟展「富士山が、無い!」」(静岡アートギャラリー、静岡)、「第6回名古屋展「喫茶覚知」」(ギャラリー早稲、覚知)、「第7回横浜展「渡鳥有限公司」」(ギャラリーA.R.K.、神奈川)、「第8回新潟展「新潟地日記」」(新潟地誌、新潟)等

櫻井栄一

Eichi SAKURAI



1975年熊本生まれ、九州産業大学卒業、熊本在住。代表作は、クラブに集う若者の群像を濃度の異なるパステル画で表現する。主な展覧会に、2007年「PASTEL BANCHOU」(ESPACE JAPON、パリ)、2009年「顔日デザイン展」(グラフィック賞、熊本日日新聞社、熊本)、同年「アーツイックVol.1」主催、2010年「NPO法人アーツイック設立、同年 新町三景美術館設立



「旅の絵はがきワークショップ」

8月10日(日) 10:00-15:00

ワタリドリ計画と一緒に、新町三景地区の古い町並みを訪ねてモノクロ写真を取り、染紙画で着色して旅の絵はがきをつくらう

集合及び実施場所が広島(熊本市新町2丁目11-19)
申込：予約制(来館か電話で美術館へ)
定員：小学生以上20名(小学生は保護者同伴)
参加費：一人300円(保険代込)
持ってくるもの：デジタルカメラ/パソコンにつなぐメモリーカードがあるもの、帽子、水筒、お弁当(近場で取ってもら可)
共催：新町三景町屋研究会

8月 10:00から屋敷集合→10:15ワークショップ開始
→10:30→11:30撮影→12:00→13:00集合
休憩→12:00→15:00写真に着色→終了後
お弁当を食べて帰路